

第2章

幼児の言動の 意味と 援助のポイント

子どもの心身の発達の過程に見られる特徴的な言動を選び、それが発達にどのような意味をもつのか、どうして起こるのか、また指導や援助のポイントをわかりやすくまとめています。



第2章 目次

幼児の言動の意味と援助のポイント

- アイ・コンタクト ……50～51
- 甘え ……52～53
- いざこざ ……54～55
- うそ ……56～57
- おどけ ……58
- 思いやり ……60～61
- 課題意識 ……62～65
- がまん・抑制力 ……66～67
- かみつき ……68～69
- 基本的信頼感 ……70～71
- 協調性 ……72～73
- けんか ……74～75
- こだわり ……76～77
- 自我の芽生えと発達 ……78～79
- 象徴機能の発達 ……80～81
- 育ち合い ……82～83
- だまし ……84～85
- 知的好奇心 ……86～87
- 同一視・同一化・同調行動 ……88～89
- 道徳性の芽生え（葛藤^{かつどう}も含む） ……90～91
- 仲間関係 ……92～95
- 恥の意識 ……96～97
- はにかみ ……98～99
- ひやかし ……100～101
- 指しゃぶり ……102～103
- ユーモア ……104～105
- 欲求不満 ……106～107
- ルールや決まりの理解 ……108～109
- 劣等感 ……110～111